

2025年度 授業要項

区 分			専門基礎分野	履修学年/学部	第3学年/昼
科目名			疾病と障害演習	履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格			理療科教員	使用教室	第3柔整普通教室
教員名			川上 恭	講義形式	講義・演習
学習目標と講義概要			一般臨床医学、外科学、整形外科で学んだ基礎医学の知識を復習することにより、疾病と傷害を総合的に判断出来るようにすることを目標とする。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	総論(医療面接) 復習		
2	1	2	総論(視診・打診) 復習		
3	1	2	総論(聴診・触診) 復習		
4	1	2	総論(バイタルサイン) 復習		
5	1	2	呼吸器疾患 復習		
6	1	2	循環器疾患 復習		
7	1	2	消化器疾患 復習		
8	1	2	内分泌・代謝疾患 復習		
9	1	2	血液疾患 復習		
10	1	2	腎疾患 復習		
11	1	2	神経疾患 復習		
12	1	2	感染症 復習		
13	1	2	膠原病 復習		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答・解説		
合計					
15	15	30			
学習方法					
1) 板書及び説明、解説 2) 資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
1) 単位認定試験 2) 出席状況(3分の2以上の出席)					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
リハビリテーション医学:南江堂 一般臨床医学:医歯薬出版 整形外科学:南江堂					
教員について【実務経験有】					
理療科教員資格を有し、治療院での実務(臨床)経験において現場で得た知識経験等を活かし授業を行う。					

2025年度 授業要項

区 分			専門基礎分野	履修学年/学部	第3学年/昼
科目名			関係法規	履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格			柔道整復師 専科教員	使用教室	第3柔整普通教室
教員名			木野田 浩平	講義形式	講義
学習目標と講義概要			医療提供の理念に基づき、患者に対し良質かつ適切な医療行為をするうえで「柔道整復師法」と医療従事者としての必須な法規について理解し同時に職業倫理も備えることを目的とする。禁止事項、罰則事項についてしっかりと理解するとともに、医療従事者として社会における人の権利、人権を守ることが出来るようになる。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	Ⅰ.序論 Ⅱ-A.第1章 総則 Ⅱ-B.第2章 免許		
2	1	2	Ⅱ-B.第2章 免許 Ⅱ-C.第3章 柔道整復師国家試験		
3	1	2	Ⅱ-D.第4章 業務 Ⅱ-E.第5章 施術所		
4	1	2	Ⅱ-F.第6章 雑則 Ⅱ-G.第7章 罰則		
5	1	2	Ⅱ-H.第8章.指定登録機関及び指定試験期間 Ⅱ-I.第9章 附則 Ⅲ-A.医療従事者の資格法		
6	1	2	Ⅲ-A.医療従事者の資格法		
7	1	2	Ⅲ-B-1.医療法1章～2章		
8	1	2	Ⅲ-B-1.医療法3章～6章		
9	1	2	Ⅲ-B-2.医療法施行令 Ⅲ-C.社会福祉関係法規 Ⅲ-D.社会保険関係法規 Ⅲ-E.その他の関係法規		
10	1	2	柔道整復師法1		
11	1	2	柔道整復師法2		
12	1	2	柔道整復師法施行令・施行規則		
13	1	2	その他省令および日本国憲法		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答・解説		
合計					
15	15	30			
学習方法					
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
1)単位認定試験 2)出席状況(3分の2以上の出席)					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
関係法規 :医歯薬出版					
教員について【実務経験有】					
(木野田先生)柔道整復師免許、柔道整復師専科教員資格を有し、整骨院での現場実務経験、他の学校での教員経験を活かし授業を行う。					

2025年度 授業要項

区 分			専門基礎分野	履修学年/学部	第3学年/昼
科目名			柔道Ⅲ	履修単位/時間	2単位/60時間
教員資格			柔道整復師 専科教員	使用教室	柔道場
教員名			木野田 浩平 、 天和 航平	講義形式	実技
学習目標と講義概要			精力善用、自他共栄の心を持った柔道整復師を育成するべく、心、技、体を鍛えることを目的とする。 認定実技審査を見据え、礼法、前方回転受け身、約束乱取り、投の形の完成度を高める。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	準備運動、柔道着の着方、礼法、受身1		
2	1	2	準備運動、柔道着の着方、礼法、受身2		
3	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み		
4	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み、手技の形1		
5	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み、手技の形2		
6	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み、手技の形3		
7	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み、腰技の形1		
8	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み、腰技の形2		
9	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み、腰技の形3		
10	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み、足技の形1		
11	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み、足技の形2		
12	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み、足技の形3		
13	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み、寝技1		
14	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み、寝技2		
15	1	2	中間試験		
16	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み、乱取1		
17	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み、乱取2		
18	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み、乱取3		
19	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み、乱取4		
20	1	2	準備運動、礼法、受身、打込み、投込み、乱取5		
21	1	2	総合演習1		
22	1	2	総合演習2		
23	1	2	総合演習3		
24	1	2	総合演習4		
25	1	2	総合演習5		
26	1	2	総合演習6		
27	1	2	総合演習7		
28	1	2	総合演習8		
29	1	2	単位認定試験		
30	1	2	解答・解説		
合計					
30	30	60			
学習方法					
見学者はレポートを提出すること					
評価方法					
1)単位認定試験 2)出席状況(3分の2以上の出席)					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
資料配布					
教員について【実務経験有】					
(木野田先生)柔道整復師免許、柔道整復師専科教員資格を有し、整骨院での現場実務経験、他の学校での教員経験を活かし授業を行う。 (天和先生)柔道参段、整形外科での実務経験が約7年。現場で診させていただいて得た知識・技術を基にして、基礎はもちろんのこと、臨床経験も交えながら、授業を展開します。					

2025年度 授業要項

区 分			専門基礎分野	履修学年/学部	第3学年/昼
科目名			柔道整復術の適応	履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格			理療科教員	使用教室	第3柔整普通教室
教員名			佐藤 卓弥	講義形式	講義・演習
学習目標と講義概要			一般臨床医学、外科学、整形外科で学んだ基礎医学の知識を復習することにより、柔道整復術の適応となるかを総合的に判断出来るようにすることを目標とする。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	総論 復習 1		
2	1	2	総論 復習 2		
3	1	2	感染性疾患 復習		
4	1	2	非感染性疾患 復習 1		
5	1	2	非感染性疾患 復習 2		
6	1	2	骨腫瘍 復習		
7	1	2	骨系統疾患 復習		
8	1	2	骨端症 復習		
9	1	2	神経麻痺 復習		
10	1	2	神経・筋疾患 復習		
11	1	2	身体部位別各論(体幹) 復習		
12	1	2	身体部位別各論(上肢) 復習		
13	1	2	身体部位別各論(下肢) 復習		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答・解説		
合計					
15	15	30			
学習方法					
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
1)単位認定試験 2)出席状況(3分の2以上の出席)					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
医療の中の柔道整復:南江堂 リハビリテーション医学:南江堂 一般臨床医学:医歯薬出版 整形外科:南江堂					
教員について					
他大学教育機関等での研究教育活動及び医療系専門学校での教育経験を活かし授業を行う。					

2025年度 授業要項

区 分			専門基礎分野	履修学年/学部	第3学年/昼
科目名			社会保障制度	履修単位/時間	2単位/30時間
教員資格			柔道整復師 専科教員	使用教室	第3柔整普通教室
教員名			木野田 浩平	講義形式	講義
学習目標と講義概要			社会保障制度を十分に理解し、患者への説明できる柔道整復師となることを目的とする。特に臨床現場で適応されやすい保険について理解を深め、保険請求の仕組み(償還払い、受領委任はらいの違いなど)について理解し、各保険制度に対応できる知識を身に付けることが出来るようにする。		
回数	コマ数	時間数	学習内容		
1	1	2	社会保障		
2	1	2	社会保険制度(年金保険)		
3	1	2	社会保険制度(介護保険)		
4	1	2	社会保険制度(医療保険)		
5	1	2	社会保険制度(医療保険・その他)		
6	1	2	診療報酬制度と療養費払い		
7	1	2	柔道整復師業務における療養費1		
8	1	2	柔道整復師業務における療養費2		
9	1	2	柔道整復師の職業倫理について		
10	1	2	インフォームド・コンセント		
11	1	2	医療事故、医療過誤、ヒヤリハット		
12	1	2	守秘義務 医療契約		
13	1	2	個人情報の扱いについて		
14	1	2	単位認定試験		
15	1	2	解答・解説		
合計					
15	15	30			
学習方法					
1)板書及び説明、解説 2)資料の配布及び説明、解説					
評価方法					
1)単位認定試験 2)出席状況(3分の2以上の出席)					
「学則」及び「学則施行細則」並びに「単位認定試験実施要領」「単位の授与・進級判定要領」「成績評価規程」に準ずる。					
教科書					
社会保障制度と柔道整復師の職業倫理:医歯薬出版					
教員について【実務経験有】					
柔道整復師免許、柔道整復師専科教員資格を有し、整骨院での現場実務経験、他の学校での教員経験を活かし授業を行う。					